

# ふれあい



発行所：鳥取県人権教育推進協議会

〒680-0846 鳥取市扇町21 県立人権ひろば21ふらっと内

電話：0857(22)0578 FAX：0857(22)0593

発行者 松井 満洲男

## 新しい年を迎えて

2015年を迎え、皆様におかれましては新たな気持ちでスタートされていることと思います。

去年は、第39回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会が一日開催になったこと、第7回中国ブロック人権・同和教育研究大会鳥取大会を開催したことなど、前年までとは変わった点や事業内容がありました。全人教の関係では、第66回全人・同教研究大会香川大会において倉吉市小鴨地区同和教育研究会に県代表として実践報告をしていただき、熱のこもった討議がなされました。

加盟団体及び機関団体、そして関係者の皆様に改めて心より感謝申し上げますとともに、本年も鳥取県の人権教育がますます充実するよう共に進んでまいりたいと思います。県人教事業への一層のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。



## 第66回全国人権・同和教育研究大会香川大会の報告

第66回全国人権・同和教育研究大会が2014年12月6日(土)・7日(日)の2日間、高松市及び小豆島において開催されました。開会・全体会のメイン会場は高松市総合体育館第1競技場でした。参加者総数は、10,553人でしたが、そのうち鳥取県からの参加者数は221名でした。

### オープニングイベント

「鶴尾(つるお)太鼓」は1997年に高松市立鶴尾中学校で発足した太鼓演奏です。大会当日は田村保育所・鶴尾保育所の年長児、そして鶴尾小学校6年生もそれぞれ演奏しました。保育所の年長児は樽太鼓の演奏でした。

### 全体会

#### <開会行事・特別報告>

主催者・来賓挨拶に続いて、大会基調、大会宣言の朗読があり、最後に特別報告がありました。



## —特別報告より—

「子どもが語れば、大人が変わる

～じぶんが好き、なかまが好き、ふるさとが好き～

1. 報告者：香川県同教・土庄町立土庄中学校 藤原 一章さん

報告者 藤原 一章さんの思い

- ・学校に来づらい子、進路に展望が持てず荒れてしまう子、彼らの背景にある部落差別を中心とした様々な課題や実態を見ようとしてこなかった自分に気づく。
- ・進路や部落問題をともに学ぶ「保護者会」を立ち上げ、そして、それが保護者と子どもが向き合う「親子のつどい」につながった。
- ・子どもたちから地域や保護者へ発信する「土庄町人権フェスタ」。子どもたちが正しく学び、語り続けていくことで、大人や地域が変わると信じて、みんなで取り組みを続けている。



## 鳥取県の報告者・実践報告協力者から

鳥取県代表として、倉吉市小鴨地区同和教育研究会の森 康雄さん・伊藤 教さんが社会教育部会（第5分科会 第3分散会「人権確立をめざすまちづくり」）で報告されました。分散会場には約170名の参加者があり、報告をもとに熱心な討議が行われました。プレゼンテーションのパソコン操作を担当された下吉 真二さんが行政の立場から質疑に対して応答される場面もあり、チームワークのよさがうかがえました。

分科会報告者及び他の分科会の実践報告協力者（司会者）の皆様、本当にありがとうございました。皆様から寄せていただいた感想を以下に掲載いたします。



## 実践報告者として参加して

「地区内で発生した差別落書き事象とその後の取り組みについて」

鳥取県人教・倉吉市小鴨地区同和教育研究会  
森 康雄・伊藤 教

区内全域で学習する様子や新たな動きへ発展してきた取り組みについて報告し、多くの方々にご意見をいただくことができました。持ち時間を気にしながら自分達の思いを発表することの難しさを痛感させられました。これからも人の良心に訴え続け風化させないよう継続して取り組んで行きたいと思っております。会場の皆さんと議論を交わした時間は私たちにとって今後進めていく為の大切なものとなりました。ありがとうございました。

## 実践報告協力者（司会者）として参加して

南部町立会見小学校 福原 潤一

高松の地で開催された第66回大会ですが、私の担当した分散会では二日間でのべ1,100人の参加者が集まり、大変盛会でした。6本の報告のうち、3本が教材開発、3本が核になる子に寄り添ったレポートでした。教材作りについては、何を教えたのかではなく、どう受け止めたのかにこだわりたいと深い論議がありました。また、キャリア教育についても話題になりました。県内でも取り組みが進んでいますが、これまでの同和教育の「進路保障」の取り組みを振り返ってみる必要があると思いました。

## 実践報告協力者（司会者）として参加して

鳥取県立倉吉総合産業高校 尾坂 紀生

私は昨年につき第3分科会〈進路・学力保障〉の第3分散会の実践報告協力者として参加した。率直な感想を一言で述べると「自分の力のなさを突きつけられた」ということだった。報告者から「差別はなかった。」と聞かされたとき「そんなはずはない。」と思われ、報告者の気づかない差別との関係を発見したかった。そこで、あの手この手で探りを入れ質問を投げかけたが、その度に「そんなことはありません。」ときっぱりと、しかも自信満々で返されてしまった。結局、分散会の討論は盛り上がりせず、会場の仲間にひたすら助けてもらう2日間だったのだ。

現実にも十分想定される「差別はない」と思い込んでいる人、そんな人に対峙したとき私はどうすることもできないだろう。この自分の有り様を乗り越えるにはどうしたらいいのか、私の出した結論は「もっともっとマイノリティと関わっていく」ということだった。

## 実践報告協力者（司会者）として参加して

とっとり震災支援連絡協議会 佐藤 淳子

社会教育部会「人権確立を目指すまちづくり」第五分科会では、行政、民間団体、識字学級指導者の報告があり、社会教育の範囲は未就学教育から進路保障まで幅広くその現状に学ぶ必要があること。また、現実にも何を学び、一人一人が人権のまちづくりのどのような位置にいるのかを振り返られる様な研究協議が必要との意見がありました。

二日間とも参加者が100人をかなり下回った分科会でしたが、全体討議では、自己を語り、出会いに触れ自分たちの地域にどのようにコミットしていくかを考えることができたと思います。

推進者として、一参加者として、ともに体感できた有意義な、そして「お得な」研究大会に参加できました。ここまで繋いでいただいた前任の方々に深く感謝いたします。

## 2015年度の研究会等 予定

### <県内>

○第40回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会

期日：2015年8月7日（金）

会場：全体会場（午前） とりぎん文化会館梨花ホール（メイン会場）

小ホール（サブ会場）

分科会場（午後） とりぎん文化会館小ホール他8会場

また、研究集会40周年を記念した座談会を予定している。

## < 県外 >

### ○第67回全国人権・同和教育研究大会長野大会

大会テーマ「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう」

～部落問題を解決し、人権文化の創造をはかるために、

同和教育の充実と発展を通して人権教育・人権啓発を構築していこう～

地元大会テーマ「信州発! そのあとに続く全ての世代のために」

期日：2015年11月21日（土）・22日（日）

会場：全体会場 長野ホワイトリング（長野市真島総合スポーツアリーナ）

長野市真島町真島2268番地 TEL026-283-7977

分科会場 21会場

○全人教教育課題別研究会～創る つながる きり拓く～ 7月30日（木）愛媛県西条市

○全人教「豊かな人権教育の創造」実践交流会 8月4日（火）京都府京都市

○第40回部落解放・人権西日本夏期講座 6月25日（木）～26日（金）岡山県岡山市

○部落解放研究第49回全国集会 11月10日（火）～12日（木）大分県別府市

## お知らせ

先般発行いたしました「第39回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」の記録集に間違いがありましたので、別冊の記録集（修正版）を再発行いたしました。

ご希望の方は、県人教事務局へご連絡ください。

TEL0857-22-0578 FAX0857-22-0593

Eメール [torikendoukyo@cyber.ocn.ne.jp](mailto:torikendoukyo@cyber.ocn.ne.jp)

## 新刊のご案内

人権教育実践ブックレット4 「人権教育と部落問題学習」

発行：（公社）全国人権教育研究協議会

A5版64頁 頒価800円（加盟人同教からの注文の場合2割引640円）

< 目次 >

第1部 部落問題学習をすすめるにあたって（参考資料：「部落問題学習」研究会での提案）

第2部 部落問題学習の実践事例（鹿児島県樋脇小学校・東京都八広小学校）

第3部 講演録 全同教の遺産と教訓の発展を（（財）奈良人権部落解放研究所理事長 寺澤亮一さん）

◎購入希望があれば鳥取県人権教育推進協議会事務局へご連絡ください。